

京都創生

KYOTO SOUSEI

第21号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

京都市美術館が「京都市京セラ美術館」として リニューアルオープン!!

～京都の文化芸術の歴史に新たな1ページが加わります～

東山を借景に、琵琶湖疏水が流れる広々とした空間に近代建築物が建ち、優れた都市景観を持つ岡崎地域の中で、重厚な外観と風格で抜群の存在感を誇る京都市美術館。本館は、公立美術館として日本に現存する最も古い建築で、昭和8年に昭和天皇の御大礼を記念し誕生しました。和と洋の意匠が絶妙に融合する帝冠様式と呼ばれ、近代建築として高く評価されています。

この美術館が画期的な大規模リノベーションを施し、令和2年3月21日(土)に、「京都市京セラ美術館」として新しく生まれ変わります。

今回のリノベーションでは、建築当時の壮麗な外観の風格はそのままに、正面にスロープ状の広場「京セラスクエア」、本館地下1階部分に美術館の新たな顔となる現代的な意匠「ガラス・リボン」、最新設備を備えた展示スペース「東山キューブ」など、新たな魅力を携えています。「故」と「新」が融合する新しい美術館は、歴史的な建築の保存と現代的な機能を整備することで、保存・継承・活用を同時に実現させています。

現代のニーズに合った新たな文化芸術の殿堂。これからも京都のみならず日本の文化芸術を牽引していきます。

京都市京セラ美術館開館記念展 京都の美術 250年の夢

令和2年3月21日(土)～12月6日(日)

会場[本館 北回廊 1階 ほか]

※展示替えのための休止期間あり

杉本博司 瑠璃の浄土

令和2年3月21日(土)～6月14日(日)

会場[新館 東山キューブ]



京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

シンポジウム 京都創生推進フォーラム

当フォーラムと京都市では、京都創生実現に向けた市民の皆様による自主的な活動を推進するため、シンポジウムを開催しています。今年度は、オープニングで桂二乗氏による落語「はてなの茶碗」をご披露いただいた後、パネルディスカッションを行いました。



日時 令和元年7月25日(木) 13:30～16:00

会場 ロームシアター京都「サウスホール」

パネルディスカッション 「京都の祭りから考える文化、観光、経済の循環」

◎コーディネーター

■宗田好史 氏（京都府立大学副学長）

祇園祭が1150周年を迎える中、1.3兆円の観光消費がもたらされている反面、「観光公害」なる言葉も出てきました。観光の経済をどう活用するか、観光があるからこそ京都の文化、景観が持続する。その可能性を作っていく新しい仕組みを考えなければいけません。今日は、京都の文化を担い、祭りに関わる方々からそのヒントを探します。

◎パネリスト

■田中安比呂 氏（賀茂別雷神社（上賀茂神社）宮司）

祭りの起源は、天災や疫病の蔓延など、人智を超える困難に陥ったときに、神の力で鎮めてもらいたいという“願い”から神を祀ったものでした。賀茂祭（葵祭）は源氏物語にも描かれ、境内の模様に至るまで千年以上前から変わらず続けてきています。「昔ながらの形をずっと続けていく」ということが大切です。

人々と祭りは切っても切れない繋がりがあり、ご家庭で神棚に毎日ご挨拶する、仏壇でご先祖様にお祈りを捧げるなど、不思議がらずにされている。京都のみなさんはごく自然に神様と一緒に日常生活をされている方が多いと思います。

■濱崎加奈子 氏（公益財団法人有斐斎弘道館代表理事・館長）

「祭り＝神様を身近に感じられる時」には原点に帰る作用があり、その原点を確認し循環させることで、私たちの心あるいは町中が新しいエネルギーを吹き返すのだと思います。長い年月の後でも再興するともう一度吹き返す。現代においてとても大事だと考えます。

かつては人々の祈り、芸能、公共工事などが一体になった「勧進」というシステムで文化と経済の循環は当たり前のようにありましたが、今「学問」という要素が欠けていると感じています。論理的な学びだけではなく、身体感覚も含めた総合的な学びをお茶や能、色々なものを芸能に詰め込んで、学び、伝えてきたのだと思います。

■稲岡亜里子 氏（本家尾張屋16代目当主、写真家）

京都ほど神に繋がっている場所はないと思います。まち中の地蔵や感謝の気持ちを添えた四季折々の懐石料理などは、外国人にとって文化やアートであり、そうした感動を求めて来られます。また彼らは、日本＝京都＝神秘的というイメージを持っていますが、神に繋がる神秘を作ってきたのは私達であり、京都が守ってきているもの。そこを大切に分かち合えれば、世界の誰とでも繋がれると思います。



祭りが言葉を越えて人を繋げるように、京都には持続性のあるコミュニティ全体を考えた社会があり、私達はその文化・歴史を伝えていく役目があると思います。

■三木忠一 氏（文化庁地域文化創生本部事務局長）

当本部の職員のように祭りに参加し、その熱気を自分に取り入れて生活すると、文化行政に良い影響があると考えます。京都に来て、祭りの根底にある人々の思いや意味を実感できる機会が持てるのは、生活しているからこそ。文化庁が京都に来ることで、これかも新しい発見があることを期待しています。

京都に来る人は文化を知りたいと思っているので、そのような人達が間口広く入れれば自然と奥に入ってきます。文化庁では様々な取組を通じて、そのお手伝いをしています。

日本人が歴史的に持ってきた素晴らしい価値を、京都は非常に純度高く今まで引き継いでこられてきたと思います。



■宗田好史 氏

市民の皆さんが、この純度の高い文化を支えていることを今一度自覚し、外国から来るお客様と接していただく新しい時代が既に来ています。京都を閉じるのではなく、大きく開いていかなければならないのではないかと思います。観光・文化を発信していく新しい仕組みを、文化・観光・景観を旗頭にしている京都創生の取組として続けていただきたいと思います。

京あるき in 東京2020

京まなび～知ると日本がもっと好きになる～を今年も開催！



京都市、京都商工会議所、(公社)京都市観光協会及び当フォーラムでは、京都創生PR事業「京あるき in 東京2020」を開催します。10回目となる今回は、令和2年2月8日(土)から3月15日(日)までの約1カ月間、京都ゆかりの企業や団体、大学に参画いただき、東京都内各所で京都の魅力を発信する催しを実施します。東京に居ながら、日本ならではの文化に彩られた京都の魅力を「見る」「知る」「食べる」1ヶ月。ぜひお好きな催しやお店を気軽に巡り、京都の魅力を五感で感じながら、お楽しみください。

詳しくはHPをご覧ください。

<https://kyoaruki.jp/>



国連世界観光機関／ユネスコの国際会議が京都で開催 SDGsの達成に向けた観光と文化の力の活用について議論

昨年12月12日(木)～13日(金)にかけて、国立京都国際会館にて、「第4回国連世界観光機関(UNWTO)／ユネスコ 観光と文化をテーマとした国際会議」が開催され、国内外から約1,500名(2日間延人数)にご来場いただきました。

本会議はUNWTOとユネスコが主催し「将来世代への投資～観光×文化×SDGs～」をテーマとして、先進国で初めて開催されました。彬子女王殿下のご基調講演に続き、各国の閣僚級や門川大作京都市長がそれぞれの取組などについて発表し、また、元ユネスコ事務局長松浦晃一郎氏をはじめとする文化・観光の関係者が集結し、「文化の継承」、「地域コミュニティ」、「人材育成」などに焦点を当て、各国が直面するオーバーツーリズムなどの観光課題の解決に向けた取組について議論しました。

さらに、本会議の成果として「文化」・「地域コミュニティ」及び「観光」の理想的な関係を築き、SDGsの達成に繋げていく「京都モデル」の活用推進を明記した「観光・文化京都宣言」が取りまとめられ、京都から国際的な指針を世界に向けて発信することができました。

今回の会議開催にあたっては、行政や関係諸団体がオール京都として一丸となって取り組み、誘致活動から当日運営に至るまで、会議の成功に尽力しました。



京都創生PRポスター 「日本に、京都があつてよかった。」第33弾

当フォーラムと京都市では、京都創生PRポスター「日本に、京都があつてよかった。」を発行しており、第33弾のテーマは「京都の隠れた名所」です。

京都の東の玄関口・山科に佇む随心院。小野小町ゆかりのこの寺には、小町が恋文を埋めたと伝わる文塚や、鏡代わりに使ったといわれる化粧井戸が残ります。

知る人ぞ知る、とっておきの京都。まちなかの喧騒を離れ、隠れた名所へ訪れると、連綿と続く歴史に彩られた奥ゆかしい魅力が現れます。

このポスターを多くの方にご覧いただき、改めて京都がもつ歴史的・文化的資産の素晴らしさを再認識していただくとともに、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えています。

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。
(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
企画展 天皇陛下御即位 記念「皇室のしつらえⅡ」	大正から令和の即位礼のしつらえを 知る事のできる資料を展示	令和元年11/15(金) ～令和2年5/29(金) 10:00～16:00	川島織物文化館 (京都市左京区静海市原町265)	無料	要	川島織物文化館 (075-741-4123)
シリーズ展6 特集展示： 仏像ひな型の世界	京都仏師・畑治良右衛門が代々守り 伝えた数々の雛型を展示	1/9(木)～2/9(日) 10:00～17:00	龍谷ミュージアム(京都市下京区 堀川通正面下(西本願寺前))	一般：550円 シニア：450円 大学生：400円 高校生：300円	不要	龍谷大学龍谷ミュージアム 京都新聞
節分会	午後の豆まきと鬼退治、華麗な福娘 多数。探燈大護摩祈禱焚煙の祭典	2/3(月) 8:00～20:00	聖護院門跡 (京都市左京区聖護院中町15)	無料	不要	聖護院門跡 (075-771-1880)
早春から初夏にかけての 町家のくらし	桃の節句2/3～4/3、端午の節句4/5 ～6/5、夏越の行事6/1～6/30	2/3(月)～6/30(火) 10:00～11:00	西陣くらしの美術館 富田屋 (京都市上京区大宮通一条上ル)	2,200円 ※并当追加3,300 円で可	要	西陣くらしの美術館 富田屋 (075-432-6701)
節分会追儺式鬼法楽 (鬼おどり)	一年間の除災招福・商売繁盛・所願 成就の護摩供養法要	2/3(月) 15:00～16:00	廬山寺 元三大師堂(京都市上京区 寺町通広小路上る北之辺町397)	無料	不要	宗教法人廬山寺 (075-231-0355)
第24回京都伝統工芸大学校 卒業修了制作展	友禅・仏像・陶芸など150点の卒業 修了制作作品を展示します。	2/8(土)～2/24(月・祝) 10:00～17:00 (金・土のみ～18:00)	京都伝統工芸館 (京都市中京区烏丸三条上ル)	無料	不要	京都伝統工芸大学校 (一財)京都伝統工芸産業支援センター
第13回湖都古都芸術展	日中友好絵画・書画の交流展覧会	2/11(火・祝)～2/13(木) 10:00～17:00 (※最終日～16:00)	京都市美術館別館(京都市左京区 岡崎最勝寺町13 岡崎公園内)	無料	不要	NPO法人文化芸術国際協会 090-8125-9886 (王培英)
小嶋悠司展	伝統を超え、新しい重厚な日本画を 生み出した小嶋悠司の回顧展	2/12(水)～3/13(金) 10:00～17:00	中信美術館(京都市上京区下立売 通油小路東入西大路町136-3)	無料	不要	公益財団法人中信美術奨励基金 (075-223-8385)
茶の湯短期集中講座 薄茶・濃茶の世界	三日間の連続講座。じっくり深く学 んだあとはお手前を体験してみま しょう。	薄茶 2/14(金)～2/16(日) 濃茶 2/28(金)～3/1(日) 13:00～16:00	無鄰菴 (京都市左京区南禅寺草川町31)	薄茶：10,000円 濃茶：15,000円	要	無鄰菴管理事務所 9:00～17:00(075-771-3909) ※Web申込 https://murin-an.jp/events/
第4回平安千年の声明の調べ 「みほとけの音聲」	真言声明の種智院大学と天台声明の 叡山学院との共演をお届けします。	2/19(水) 14:00～16:00	京都府立府民ホール アルティ(京都市 上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1)	前売券：3,000円 当日券：3,500円	不要	種智院大学 (075-604-5600) 叡山学院 (077-578-0029)
伊藤若冲を求めて (日帰りツアー)	江戸時代に活躍し、今もなお人気の ある天才絵師伊藤若冲のゆかりの寺 院を訪れます	2/11(火・祝) 11:30～17:30頃	石峰寺・宝蔵寺(バス移動 集合場所：京都駅八条口)	19,500円 (移動費・昼食代・ 拝観料含む)	要	株式会社カルチャー (075-432-4090)
歴史散歩	既知のトピックを再見し、歴史の深 さ、不思議さを歩き楽しむ。	2/23(日)～6/28(日) 13:00～16:00 (毎月最終日曜日のみ)	市内各所	1,000円	要	京都歴史散歩倶楽部
浄焚式	不要になったお札や御守御位牌仏壇 等をご供養し御焚き上げる。	2/25(火) 11:00～12:00	大本山 くら谷 金戒光明寺	有料：御志納	不要	大本山くら谷金戒光明寺 (075-771-2204)
令和2年春の特別公開 「永々棟のひなまつり」	江戸時代から現代までのさまざまな 雛人形をお座敷に展示します。	2/28(金)～3/29(日) 10:00～17:00 (金・土・日・祝のみ)	平野の家 わざ 永々棟 (京都市北区北野東紅梅町11)	一般：600円 大学・高校： 400円 中学以下：無料	不要	平野の家 わざ 永々棟 (075-462-0014)
春の特別一般公開 「ひな飾り展」	京商家のハレの日のしつらえと数々の 雛人形をお楽しみください。	3/1(日)～3/22(日) 13:00～16:40 (※休館日：月・火)	重要文化財 杉本家住宅(京都市下 京区綾小路通新町西入矢田町116)	大人：1,500円 高校以下： 800円	不要	公益財団法人奈良屋記念杉本 家保存会 (075-344-5724)
日本画家・木島櫻谷旧邸の特別公開 桃の節句にちなんだお雛さま、手描き婚 礼衣装、櫻谷作品など収蔵品の特別展示	櫻谷旧邸和館・洋館・画室特別公開 他、お雛様、手描き婚礼衣装など展示	3/7(土)～4/12(日) 10:00～16:00 (土・日・祝のみ)	櫻谷文庫 (京都市北区等持院東町56)	600円	不要	公益財団法人櫻谷文庫 (075-461-9395)
小倉あん発祥地顕彰式	小倉あん発祥地顕彰式典と小倉ぜん ざいの振る舞い	3/22(日) 10:00～15:00 ※ぜんざいの振る舞 いは12時から	小倉山二尊院境内(本道横) (京都市右京区嵯峨二尊院門前長 神町27)	拝観料 500円	不要	小倉館顕彰式世話人会 (075-861-2124)
並河靖之七宝記念館	春期特別展「光輝ある並河七宝」を 開催。七宝・庭・建物を公開	4/3(金)～7/19(日) 10:00～16:00	並河靖之七宝記念館(京都市東山 区三条通北裏白川筋東入堀池町388)	800円	不要	並河靖之七宝記念館 (075-752-3277)
一般社団法人祇園祭布袋 山保存会南蛮茶会Ⅵ	南蛮茶会Ⅵ 茶の湯と日本の心、京都 観光おもてなし大使 らん布袋	4/5(日) 11:30～15:00	白河院 TEL:075-761-0201 (京都市左京区岡崎法勝寺町16)	6,500円 ※早茶・京料理・桜と お庭(下リリウグス)	要	一般社団法人祇園祭布袋山保 存会 (090-9213-7626)
第74回文人展	文人連盟役員・会員による書・画・ 篆刻作品の展覧	4/7(火)～4/12(日) 10:00～18:00 (※最終日～17:00)	京都市美術館別館 (京都市左京区岡崎円勝寺町)	無料	不要	文人連盟 (075-255-0054) 執筆交社内
京都定期観光バス たけのこ会席料理と穴場 の夜桜観賞(SYコース)	島原角屋の2階部分を定期観光バス のお客様限定でご案内します	4/8(水)～4/18(土) 16:40～20:45 (※10日・11日は連休)	京都定期観光バス烏丸口のりば (京都市下京区烏丸通堀小路下る 堀小路町902)	大人： 14,200円	要	京阪バス(株)バス予約センター 7:40～20:00 (075-672-2100)
京都三曲協会 第31回定期演奏会	現代曲から古典まで幅広く楽しめる 邦楽演奏会 22舞台を予定	4/29(水・祝) 11:00～17:00(予定)	京都府立文化芸術会館(京都市上 京区寺町通広小路下る東桜町1)	2,000円	不要	京都三曲協会 ※月・水・金 9:00～12:00 (075-841-3099)
石清水八幡宮	石清水灯燦華 ～御本社ライトアップ～	5/4(月・祝) 19:00～21:00	石清水八幡宮 (京都府八幡市八幡高坊30)	無料	不要	石清水八幡宮 (075-981-3001)
第80回龍門社記念展書展	楷、行、草、隸、篆、五体の記念展に對 する会員の力作を展示致して居ります。	5/20(水)～5/24(日) 9:00～17:00	京都市セラ美術館 (京都市左京区岡崎円勝寺町124)	無料	不要	龍門社(大藏清雅) (075-601-0683)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」 第21号

発行日 令和2年1月

発行 京都創生推進フォーラム

(事務局：(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市下京区四条通室町東入面谷鉾町78番地 京都経済センター 3F TEL.075-353-3051 FAX.075-353-3055)

